

鉄鋼技術情報センター

鉄鋼技術情報センター新着 Proceedings

受入No.	PROCEEDINGS 名	開催地	開催月日	SPONSOR 名
1230	1st International Conference on Intelligent Materials Abstracts	大磯	92. 3. 23	The Society of Non-Traditional Technology
1231	Numiform 89 Numerical Methods an Industrial Processes	Colorado	89. 6. 26	Balkema
1232	Modeling of Casting Welding and Advanced Solidification Processes-V	Switzerland	90. 9. 16	TMS-AIME
1233	The Thirty-Forth Japan Congress on Materials Research	京都	90. 9.	(社)日本材料学会
1234	The Thirty-Fifth Japan Congress on Materials Research	京都	91. 9.	(社)日本材料学会
1235	1991 Survey of the Short Range Outlook Spring 1992 Revision	***	92. 3. 17	IISI
1236	IISI 25th Annual Meetings and Conference Report of Proceedings	Montreal	91. 10. 6	IISI
1237	Recrystallization '90	Australia	90. 1. 22	TMS
1238	Nondestructive Characterization of Materials IV	Maryland	90. 6. 11	Prenum
1239	Rapidly Quenched Materials Part 1, 2	Stockholm	90. 8. 13	Elsevier
1240	Phase Formation and Modification by Beam-Solid Interaction TMRS Vol. 23	Boston	91. 12. 2	MRS
1241	Advanced in Powder Metallurgy-1991 Vol. 1~6	Chicago	91. 6. 9	Metal Powder Industries Fed.
1242	Automatic Control 11th Triennial World Congress of IFAC Vol. 1~6	Estonia	91. 8. 18	IFAC
1243	Vehicle Tribology (tribology series. 18)	Leeds, UK.	90. 9. 4	Elsevier
1244	Low Energy Ion Beam and Plasma Modifications of Materials MRS Vol. 223	Anaheim	91. 4. 30	MRS
1245	Rapid Thermal and Integrated Processing MRS Vol. 224	Anaheim	91. 4. 30	MRS
1246	Mechanical Behavior of Materials and Structures in Microelectronics MRS Vol. 226	Anaheim	91. 4. 30	MRS
1247	Structure/Property Relationships for Metal/Interfaces MRS Vol. 229	Anaheim	91. 4. 29	MRS
1248	Magnetic Materials : Microstructure and Properties MRS Vol. 232	Anaheim	91. 4. 30	MRS
1249	Modern Perspectives on Thermoelectrics and Related Materials MRS Vol. 234	Anaheim	91. 5. 1	MRS
1250	Electric Furnace Conference Proceedings Vol. 49 Toronto 1991	Toronto	91. 11. 12	Iron and Steel Society

国際会議資料 (プロシーディングス) が利用しやすくなりました!

鉄鋼技術情報センター

本会鉄鋼技術情報センターは、会員の強い要望で国際会議資料の収集を強化してまいっておりますが、平成 4 年 6 月現在、鉄鋼関係分野を中心に 1260 点に及ぶ資料が収集され、利用されております。

これらの資料を会員の皆様によりよく利用していただくため、

①図書・資料室内にはほとんどの資料を集中収納し、閲覧室で自由に現物がみられる。

②コピー等のサービス強化をはかる。

③機器による資料の検索機能を充実する。

などの整備を7月下旬いたしました。

また、図書・資料室は従来と同じフロアで、奥の方に移転いたしました。事務室もミーティングコーナーをもうける等、装も新たになりました。

会員の皆様の一層のご利用をお願い申し上げます。

鉄鋼技術情報センター

住所：〒100 東京都千代田区大手町 2-7-1 日本ビル別館 10 階

電話 03-3241-1228(代表) FAX 03-3241-3941

ISO 幹事国活動

1. 国際規格発行に関する進捗状況

(1) ISO 規格が発行されたもの：2 件

ISO 9477 (SC 11)：一般構造用高張力鋳鋼 (05-15)

ISO 10714 (SC 1)：P-吸光光度法 (05-15)

(2) DIS 投票結果及び各国コメントが SC へ回されたもの：2 件

DIS 630-1 (SC 3)：構造用鋼 (05-19)

DIS 4992 (SC 11)：鋳鋼-超音波検査 (04-16)

(3) DIS 投票が開始されたもの：2 件

DIS 683-18 (SC 4)：磨き棒鋼 (05-21)

DIS 11692 (SC 4)：熱間析出硬化型フェライト・パーライト鋼 (05-07)

(4) DIS が登録されたもの：3 件

DIS 1005-1 (SC 13)：鉄道車輪用タイヤ (05-11)

DIS 6931-1 (SC 4)：スプリング用ステンレス鋼 Part 1 線材 (05-15)

DIS 11484 (SC 19)：NDT 従事者の雇用者 (鋼管) 認定 (05-07)

(5) CD が登録されたもの：1 件

CD 10697-2 (SC 1)：Ca-原子吸光法 (05-13)

2. ISO 中央事務局関係

(1) ISO 規格作成期間の短縮に関する検討

標記、中央事務局よりの依頼に関し、検討の資料として ISO 規格の 1991 年の販売状況の統計データを中央に要請したところ、04-30 付で返事を受けた。概要は (1991-11-15 現在)、

	ISO 全体(157 TCs)	TC 17
(a)保有規格数	8,069	185
(b)販売規格数	82,403	1,068
(英・仏版計)		
(c) ^{b)} / _{a)}	10.21	5.77
(d)売上 (仏フラン)	4,450×10 ³	105×10 ³
(日本円)	116 百万	2.7 百万

全体のデータを元に検討中。

3. TC 17 (鉄鋼) 関係

(1) ISO/TC 17 議長・青木氏再任の件

ISO/TC 17 N 2536 にて、標記について ISO/TC 17 の P メンバーに信任を問うていたが、全参加国とも再任

賛成と確認。直ちにテクニカルボードへ再任申請手続予定。任期は 1993 年から 1995 年迄。

(2) 第 17 回 ISO/TC 17 総会決議事項の実行状況

1) Resolution 5/91：TC 17/WG 19 のコンピーナー募集と作業項目削除に関する回答(締切り 07-30)は、現在迄 8 か国。内容は、いずれもコンピーナーを引き受けず、作業項目削除可の回答。

2) Resolution 11/91：TC 17/SC 8 の Secretariat の BSI 引き受けに関する回答(締切り 07-15)は現在 4 か国。内容は、いずれも賛成。

3) Resolution 14/91：作成した製品規格のレイアウトに関するマニュアル案を BSI と打合せ。大筋の合意を得て、内容詳細の詰めに入る。1992 年 9 月迄に原案作成完了し、P メンバーからのコメントを受けた後、来年の EC 会議で完了予定。

4) Resolution 12/91：TC 17/SC 17 Secretariat の学習のための訪日は、他の ISO 会議出席及び Secretary が未だ決まっていないため延期する旨の手紙を受け取った。

(3) ISO/TC 17/SC 9 ロンドン国際会議出席 (5/27, 28) 会議の内容は次項に述べるが、この機会に確認したこと、感じたことは以下のとおり。

1) TC 17 Secretariat として出席しても、事前に断れば日本代表として発言できることを確認(少なくとも BSI は了解)。

2) BSI (SC 9, SC 20 Secretariat) の ISO 規格とヨーロッパ規格整合の考え方

(a) ISO はすべての国が同意してできるもので、従って地域的なヨーロッパ規格と内容的に異なっても当然。

(b) ただし ISO では、USA、日本等の意見が入り技術的により良くなるケースが多い。従って ISO の検討結果はフィードバックして ECISS で再吟味する。

(c) Vienna Agreement は、ヨーロッパ 18 か国のメンバーの重複作業をなくすため。

(4) SC 3

DIS 630-1 構造用鋼 Part 1 鋼板、鋼帯、棒、形鋼表記 DIS の投票結果が中央事務局より送付されてきた。

SC 3 P メンバー投票 賛成 13 票、反対 2 票

(英, USA)

全メンバー投票 賛成 16 票、反対 2 票

(英, USA)